

吉田学園医療歯科専門学校 臨床検査学科

藤川 正人*[§] 高橋 智哉* 石岡 聡子* 守田 翔子*

I. 本校の沿革

本学園は1956年(昭和31年)北海道天塩郡遠別町に「北海道珠算専修学院」として創立。その後、「札幌経理専修学院」と改称し本拠を札幌市に移転。1978年(昭和53年)には私立学校法に基づく「学校法人吉田学園」に改組し現在に至っている。尚、2016年はその開学60周年を迎える節目の年となっている。

「学校法人吉田学園」(写真)は1大学・7専門学校を有し、本学科のある「吉田学園医療歯科専門学校」は2007年(平成19年)、救急救命学科・臨床工学科・視能訓練学科・歯科衛生学科・歯科技工学科の5学科で開校している。その後、医療事務クラス学科、2016年(平成28年)には本学科(定員40名)が設置され7学科となった。



写真 吉田学園医療歯科専門学校 校舎

II. 学園理念

吉田学園は「心の歴史に残る教育を通じて、自らの人格陶冶に努め、国際的視野に立つ個性ある人材を育成し、共に繁栄、超一流の学園を目指す」を学園理念とし、「学生たちの満足」「保護者の皆様の満足」「高校の先生方の満足」「業界・企業の満足」「教職員たちの満足」の「5つの満足」を目指し、一致協力して学生の教育に専念している。

III. 入学前課題

入学が決まった生徒を対象に、基礎的な数学・漢字検定3級の過去問・英文の医療用語を課題として与えている。これにより、必要な基礎学力の確認と維持、入学後の学習に対する不安の解消に努めている。

また、成育歴調査を兼ねたマイストーリー(自伝)の提出も求めている。

これは、生徒自身が生きてきた物語を、序章「誕生のころの私」・第2章「小学校入学前の私」・第3章「小学校時代の私」・第4章「中学校時代の私」・第5章「高等学校時代の私」・終章「10年後の私」の6章に分け、原稿用紙10枚程度に纏めてもらったもので、文章能力の確認に役立っている。さらに、終章においては臨床検査技師となった自分を想像して書くため、さまざまな夢や希望をもって入学してきていることが良くわかり、モチベーションを維持する効果にも利用し

*臨床検査学科 [§]fujikawa@yoshida-g.ac.jp

ている。

IV. 入学後教育

入学後すぐに「基礎学力調査」と称した試験を全学科共通で行っている。科目は国語・数学・医療用語の3科目で、全学科共通の試験のため、各自の基礎学力が良く反映され、その後の学習指導や学力向上への対策などに活用される。

朝テストも毎朝10分程度、講義前に行われる。これは学習習慣を身に付け基礎学力の定着を目的としたテストで、学科ごとに初めは国語・数学の基礎的なものから、現在では講義の進んだ科目の国家試験過去問なども出題されている。

本学科は三年制の専門学校であるため、一年次前期から専門科目の講義が行われる。学生は膨大な量の知識を吸収しなければならないが、担任教員を中心に理解不足の教科を補講等で補っている。

V. 専門教育内容

わが国の医療は、国民皆保険制度・フリーアクセス・低額な個人負担と、世界保健機構からも、優れた医療を提供していると評価されている。しかし、その一方で高騰する医療費が社会医療費を圧迫し、医療費抑制策による診療報酬マイナス改定により、今日の医療業界は厳しい環境に曝されている。このような職場環境のなかで、臨床検査技師のみが、ただ己の仕事だけを行っていれば良いという時代ではなくなっている。

そのため、本学科では一年次より「社会学」として医療保険制度・診療報酬・医療の原価計算など「保健医療福祉概論」で学習する内容を補完する授業を行っている。講師には病院経営のエキスパートを迎え、病院検査室のみならず検査センター、検診センターなどの経営や効率的運用についても、豊富な資料を駆使した講義が行われている。

また、吉田学園は医療系として看護・歯科・リ

ハビリ・臨床工学など多くの学科を有している。そのため、古くから学科の垣根を越えた授業が行われており、近年言われている「チーム医療」においても、学内で実践教育できる下地が来ている。現在、本学科教員が救急救命学科や歯科衛生学科の「臨床検査学」を担当しており、本学科の「臨床生理学」の講義・実習には視能訓練学科や救急救命学科の教員が当たる予定である。

教員間の交流だけではなく、学内実習においても保育未来学科と医療事務クラーク学科が合同で「小児コミュニケーション」という実習が行われている。これは、小児がどのような行動を取るかを実地に見聞することを目的としている。

臨床検査技師も小児と接する機会は多く、小児の思いがけない行動にヒヤリとすることが多々ある。そこで、本学科でも来年以降の学内実習において「小児の行動と安全な検査業務」を目的として、この合同実習に参加したいと考えている。

VI. 臨地実習

臨地実習は三年次の5月から8月までの期間を予定している。

吉田学園では関連病院を持たないため、札幌市を中心に約20の施設において臨床検査技師および医師の先生方のご指導を受けたいと考えている。また、学生が全道各地から入学してきているため、札幌市近郊以外の病院施設にも学生実習の受入れをお願いしている。

おわりに

本学科は平成28年4月に開学したばかりである。毎日が試行錯誤の連続で悪戦苦闘しているが、医療現場に望まれる人材育成を目指し、日々学生と向き合っている。

今後とも先輩諸氏のご指導ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願いいたします。